

2020 第 1 回チャレンジシリーズヨットイベント（2020 年 9 月 13 日）

レース講評（レースディレクター 西村 一広）

【風のコンディション】

コース設置時からスタート 1 分前くらいまで、風向 205° ～215° 。8～10kt。

210° の風向の時に 5° アウター有利になるよう、スタートラインを設置しました。

【スタート】

スタート約 2 分前くらいから、2 隻を除く 5 隻の艇がそろって、アウター狙いのいいタイミングで、スターボでアプローチを始めた。

スタート前 1 分を切ったくらいに、風が左に大きくシフト。スタートライン近くにいないとアウターに向かってスターボードで上るのが難しい風向になった。

このシフトにいち早く気がつき、かつ、タックできる位置にいた〈ノアゼット〉が素早くタックを返して、ポートタックでトップ・スタート。このレースの〈ノアゼット〉優勝の、大きな一因になった。

他の 4 隻がアウターを交わせないのを見て、一瞬、回答旗を揚げて、スタートをやり直そうかとも思ったが、〈ノアゼット〉のファインプレーも評価されるべきと考え、そのままのレース続行を決めた。

【レース展開】

その後レース中、風はスタート直前に左にシフトしたまま、レースが終わるまで風軸は戻らず、ほぼ片上り、ノージャイブの、競馬レースのような、ちょっとつまらないレースになりました。ごめんなさい。

以下言い訳： 野比沖から三浦海岸沖の東京湾は、湾中央に向かって海底がすり鉢状に急激に深くなっていくため、水深的にマークを打てる場所が限られ、風向、220° ～230° の南風、40° ～50° の北風であれば、ちょうど上下にマークを打てるが、それ以外の風向は、本日のようなコースになってしまいます。すみません。

【各艇の走りの印象】

〈ノアゼット〉

勝因 1、上記の見事なスタート

勝因 2、きれいにトップをツイストさせたメインセールトリム

勝因 3、コロナ対策に貢献していただいた、ソーシャルディスタンス保持の、ダブルハンド特典

〈マゼランメジャー〉

55 フィートの大型艇を、コロナ対策にご協力いただきわずか7名で、忙しいブイ周りレースに出いただき、輝かしい2位。

朝早くから出艇していくのを見て驚きましたが、レース海面に本部船が着いた時にはすでに、ジェネカーを揚げて練習されていたので、もう一度驚きました。すごい。

スタート前に不意な風のシフトが来てしまいましたが、スタートが計画通りにできていたら、〈ノアゼット〉と激戦になっていたかと思います。

〈アップサラス〉

1周目の快走、素晴らしかったです。

最終レグ、フィニッシュラインは本部船側有利でした。本部船側にフィニッシュすればいいのになー、と思っていました。そのコースであれば、真面目にトリムしたらスピンの張れたのではないかと思います。

〈リバティー〉

コロナ対策のダブルハンドでの参加、ありがとうございました。

34ft 艇を後ろに従えての一周目、素晴らしかったです。

34ft 艇にマーク手前で抜かれた後に、マーク回航でスキを見せた先行艇の内側に入り、先に回航したのも素晴らしかったです。

2回目のクローズホールド、ジブシートをあと10cm引き込んでいれば、2周目のレース展開はまったく違っていたかもしれません。メインセールのトリムはバッチリでした。

1周目が良かっただけに、2周目の失速が悔しいですね。

〈かいせい〉

フィニッシュ直前に〈光 III〉に抜かれてしまい、残念でした。

〈光 III〉と同じように、スピンを使って本部船に向かってきていれば、フィニッシュ順位は変わっていたかもしれませんね。

〈光 III〉

整備のタイミングもあるのですが、船底をきれいにした方がいいと思うのですが……

以上、時間がなく、駆け足で書いてしまい、また、よく読み返していません。失礼なコメントがあったらお許しくださいませ。

では、皆様、10月もいいレースができますように。

10月のレースは、11月のヴェラシスカップ本番の練習になるよう、ヴェラシスカップと同じコースで実施する予定にしております。

ぜひ奮ってご参加くださいませ。